

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和5年8月21日

事業者名: 日本ポリ鉢販売株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	・廃棄物の削減や省エネ活動を推進するとともに、環境に配慮した商品企画に挑戦し続けることで、地球環境の保全に貢献する。	⑫つくる責任 つかう責任, ⑬気候変動に具体的な対策を, ⑭海の豊かさを守ろう	・R4年度には、社内照明をすべてLED化を実現、営業車も全てHV化し、社内システム構築によるペーパーレス化(11月)実現。	指標	・環境配慮型製品の取扱数。
				目標	・2030年までに、全商品に占める環境配慮型製品の率を全体の30%以上を目指す。(現状約5%未満)
社会	・自社や全国の販売先エリアのコミュニティと積極的に連携し、次世代人材の育成支援や社会貢献活動を継続的に推進する。	④質の高い教育をみんなに, ⑪住み続けられるまちづくりを, ⑫つくる責任 つかう責任	・R4年度 地元の幼稚園に環境教育の一環として回収された海洋汚染の恐れのあるプラゴミから作った植木鉢を提供して緑を育む教育活動を実施。	指標	・年間実施事業数
				目標	・2027年までは毎年2件以上の事業を継続して実施、それ以降も持続的に事業への参画・協賛を続けていく。
経済	・「REAL VOICE」を掲げ、顧客の「声」を大切にした高品質かつ安全なポリ鉢および農業資材の開発、提供に取り組むことで、事業活動を通じて持続可能な農業の発展や食糧生産に貢献する。	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう, ⑫つくる責任 つかう責任, ⑪住み続けられるまちづくりを	・R3~4年度で、野菜生産者向けの新たな省力化資材(パネルシーダー)の開発をして販売開始。	指標	・新商品(改良商品)の開発件数
				目標	・2030年までに毎年1アイテム以上、新規で省力化および農業生産効率化となる商品の発売をしていく。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ・社内で「SDGs宣言」という達成に向けた取り組みを書面化し、全社員への周知を図るべく常時社員の目に留まるよう掲示をしている。 ・SDGs選任の担当を配置し、日常の打ち合わせや会議時などに社員に対してその目的や成果などの他、取り組み事案の進捗も報告。 ・社内および利害関係者からの情報や意見を社内でも共有し、更なるSDGs活動として活用できないかを模索・検討。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				